

新規救急救命士研修の実施

令和4年7月7日（木）に、新たに救急救命士の資格を取得し、就業前病院実習を修了した職員を対象に、各プロトコール研修とシミュレーション訓練を実施しました。

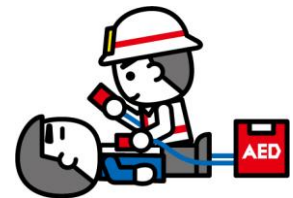
これは、医療事故防止の観点から本組合が運用している6つのプロトコールの周知徹底と指導救命士等による救急活動全般の手技の確認及び接遇向上を図る目的で実施したものです。

今後も傷病者の救命率や社会復帰率向上を図るために、指導救命士を中心として、さまざまな研修を実施していきます。

プロトコール研修



シミュレーション訓練



救急救命士とは…

救急救命士は救急車に同乗し、病気やケガをした人を適切な病院に搬送し、病院到着までの間、医師の指示のもとで、点滴をしたり、管を使って呼吸の確保など医療行為の一部ができる人です。国家試験に合格後、病院実習を160時間修了して、初めて現場でさまざまな処置ができる制度となっております。